



あなたも
チャレンジ

家庭菜園



園芸研究家
成松次郎

ゴーヤー (ニガウリ) 緑のカーテンにも最適

図1 苗作り



図2 植え付け

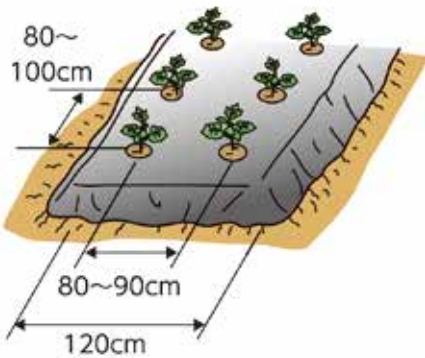
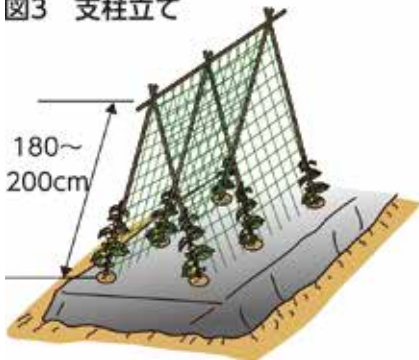


図3 支柱立て



野菜の中でも、暑いほど生育が旺盛なゴーヤーは特有の苦味が特徴の夏の健康野菜です。苦味の成分はモルデシンという物質で、胃液の分泌を促し食欲を増進し、栄養成分ではビタミンCが特に多く、カロテンとミネラルも豊富です。

【種類】 果実の形状と色で、濃緑色で中長型や短大型の種類など、白い果実の品種もあります。

【畑の準備】 口当たりの良い場所を選び、事前に1平方 m当たり苦土石灰 100gを散布し、植え付けの1週間前には化成肥料(NPK各成分 14%程度200gと堆肥 2kgを全面散布し、よく耕しておく、

120cm幅のベッドを作ります。

【苗作り】 種の皮は強く吸水しにくいので、ペンチで傷を付け1晩水に浸して十分吸水させます。高温性で、発芽に25度以上は必要なので、5〜6月まきが適します。種まきは、直径9cm程度のポリポットに3粒まき、本葉1〜2枚の頃に1本に間引き、本葉3〜4枚の頃に植え付けます(図1)。

【植え付け】 条間80〜90cm、株間80〜100cmに植え付けます(図2)。

【支柱立て】 つる性なので早めに支柱を立て、これに誘引します。支柱は合掌式に組み、ネットを張れば、つる先が絡まり安定します。初期に

つるを誘引し、後は放任でもたくさん果実を収穫できます。コンパクトに育てるには、親つるを4〜5枚で摘心し、脇から出る子つるは5〜7枚で摘心して孫つるを出させます。なお、生育は大変旺盛なので、日よけ棚作りにも向いています(図3)。

【追肥】 果実がなり始めたら、月に1〜2回、1株当たり10gくらいの化成肥料を株の周囲に施します。

【収穫】 開花後15〜20日で、果実の形が完成し、果皮につやが現れるまでに、早めに収穫します。取り遅れると、果実は黄くだいたい色に変色し、完熟するとアケビのように果実が割れ、赤い種が見えてきます。

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

サツマイモ

問題

サツマイモの栽培についての説明で、間違っているものは次のうちどれですか。

- ① 乾燥が続く、活着が心配されるとき以外は灌水しなくてよい。
- ② イモヅル苗にたくさん光が当たるように、苗の元の方の1〜2節だけ土の中に入れるように植え付ける。
- ③ 土寄せすることによって雑草を抑える効果がある。
- ④ 霜に当たると傷みやよくなるので、霜が降りる前に収穫する。

解答

正解は②です。
 解説: 植え付けのときは、芋づるの元の方の節が4〜5節は土の中に入るように植え付けるので、②が間違いです。このとき、穂先の葉は外に出るようになります。
 気温が15度程度になったら植え付けの適期で、苗がしおれていると活着が悪くなるので、30分ほど水に漬ける、苗がピンとしてから植え付けます。植え付け方法は水平植えや船底植えが一般的です。



● 日本農業検定事務局

「農」を学ぼう! 日本農業検定